

新宮山彦ぐるーぷ第1832回

行仙宿巡回・行者堂補給路側の杉斜木伐採など

◇実施日：平成27年08月05日(水)

◇参加者：川島 功、橋本 梓、畑林秀味。

計3名

持経宿改築のため行仙宿巡回が滞っていた折に、上葛川く笠捨山く行仙宿間を踏破された青木氏から、台風11号の影響により笠捨山く行仙宿間の尾根に倒木がかなりあり、処理仕切れなかつた倒木もあるが歩行に支障がない。しかし、行仙宿・行者堂の補給路沿いの杉が斜めに倒れ、歩行に支障する状態にあるとの報告があった。

行者堂のお盆前のお供え替えと杉斜木の伐採作業などの巡回整備を実施した。

行仙宿登山口の林道路路面は、増水により所々溝状になり荒れていて、登山口横・支谷の橋上には、増水で石が乗り上がっている。

9時半前に行仙宿に着くと、行者堂側の石垣に3く4本の杉が倒れて歩行しづらい状況になっている。燃料を補給。

早速、チェーンソー2台にオイル。



台風11号後による杉斜木

ロープで引っ張り伐採斜木

先ず石垣に接して支障の杉倒木を川島が伐採し、橋本氏と枝落

し、運搬を考慮し約径20cm以下は3m、径20cm以上は、2.5mないし2m長さに切る。凡そ径30cmが2本あり、内1本は伐採すると行者堂に当たる可能性があり、梯子で出来るだけ高い位置にロープを結わえて引っ張り切り倒す。たっぷり水分を含み動かし難いので多くは斜面に放置する。

結局、径30cm；2本、20く25cm；3本、20cm以下5本、計10本を伐採し終え11時半頃に昼食。

作業・昼食中もアブが多く、暑い窓を閉めて休憩する。やはりこの時期は網戸必要性を感じた。

この間、畑林氏は便槽汲み出し掃除後、石垣から上の枝落しした枝を西側斜面に運び集める。

昼食後、橋本・畑林両氏は、行者堂の清掃とお供え(盆菓子)替えとお堂周辺の伐採丸太を二人で石柱道標近くに運搬集積と枝片付け作業。持てない丸太は、ロープを結わえて引きずって運ぶ。

川島、カラ池近くの倒木及びオオヤマレンゲ植樹・囲い網に倒れた雑木を伐採処理後、林道の状況から豪雨だったので水場への落石が懸念され水場点検へ。水場は損傷無く水が流れていた。

水場点検を終え戻ると、石垣上のお堂廻りは、丸太、枝がほぼ処理されていた。



伐採作業中断

伐採後の補給路状況

行仙宿から行仙岳への急な奥駈道を見上げると、茶色の枯葉の倒木が見える。3人で行仙岳への奥駈道の点検巡視に行く。チェーンソー処理3本と朽木などを除けながら杉植林尾根迄点検し引返す。

行仙宿に戻り作業後の後始末と伐採場所を点検すると、小屋下より少し離れた位置に伐採中絶の杉が2本あり道を塞いでいて、再度、道具小屋からチェーンソーを持ち出し処理する。

斜木1本は、伐採すると荘川桜・ケヤキの囲いを直撃するので伐採を取止めた。尚、池郷林道の歩行通行不可の案内標識撤去、志納箱を開錠し志納金4万4千円を収納した。



伐採中絶の処理後状況 本日の作業者

休憩後、行仙宿15時に下山。帰路、下北山村役場に立寄り、勝平総務課長兼地域創生推進室長、和田地域創生推進室長補佐と面談し、「持経宿改築の浄財・寄付金の御礼」封書及び協力お礼と今後もご支援ご協力をお願いすると共に、南 正文村長さんへもお礼状と御礼を伝えて頂く様に託け役場を退所した。

行動タイム

新宮 7:00→8:30 登山口 8:40→9:20 行仙宿 9:40→伐採作業等→
11:30 昼食 12:40→作業・水場点検 13:45→奥駈道点検→14:30 持
経宿 15:00→15:35 登山口 15:40→下北山役場→17:45 新宮

(記 川島)